

県議会厚生委員会の活動をご報告いたします。

- 10月28日、決算特別委員会で質問いたしました。
「保育、子育てニーズ対応チャレンジ事業」において保育士資格の取得率の低さを発言し、問題提起しました。
- 10月1日厚生委員会で質問いたしました。

質問 県内における病院再編について
県の答弁 どの病院も、再編されて当然との考えは、ありません。
 地域医療構想調整会議におきまして、合意を得た上で国に報告したいと考えております。

質問 生活支援、介護予防マッチング事業のアンケート方法について
県の答弁 今後アンケートはより簡潔にし、回収率の向上を図ります。

質問 静岡がんセンターは、がんケア緩和施設として、優れているが、中部地域の取り組みはどうか
県の答弁 藤枝市立総合病院では緩和ケア病床が50床あり、また看護師等の人材育成も行なっています。

質問 障がい者働く幸せ創出センターの開所時間はニーズに対応しているか
県の答弁 現在は平日と月一回の休日に開所しているが、今後は休日利用の状況を見ながら検討していきます。

質問 保育サービスの量的拡大と入所希望への数値目標について
県の答弁 入所希望については順調に推移しています。今後も、子供・子育て支援事業を推進してまいります。

保育士資格取得受講者の14%

子育て中の母親らの保育士資格取得を応援するため、県が2013年度から始めた「保育・子育てニーズ対応チャレンジ事業」を18年度までの6年間に受講した人の保育士資格の取得率が14・6％だったことが28日、分かった。県の18年度決算を審議する県議会決算特別委員会や県への取材で明らかになった。

同事業は「子育ては楽しい仕事」と位置付ける川勝平太郎知事の肝いりで始まり、6年間に5000人以上が受講。今年10月時点で144人が保育士資格を取得した。県としても未発表による、19年度からは同事業の単独実施を直し、子育て支援研究の推進を図り、希望者を育てていきたいとしている。

同委員会に質問に立った自民党会派の西原あけみ氏（藤枝市）が、18年度の受講者105人のうち入所し取得していない取得者の低さを「非常に残念なことだ」と批判。これに対し、副議長の山本哲ひろ議長は「数年後に取得している人もいます」と説明。取材に「取得しなくても子育てや家庭の理解につながった受講者もいて事業の効果はあった」と返答した。

ママ応援事業6年、県「効果はあった」

(令和元年10月29日静岡新聞)



ご参加ありがとうございました。県政報告会を行いました。

3箇所の県政報告会に、合計300余名の方にご出席いただきました。本年も、各地区で計画です。ぜひご出席の程お願い申し上げます。

- 原地区の皆様へ 令和元年11月 8日 原公民館
- 瀬古地区の皆様へ 令和元年11月29日 瀬古会館
- 藤枝地区の皆様へ 令和 2年 1月23日 寿し宏



活動報告 西原あけみが関わった事業をご報告致します。

● 9月11日から13日まで青森県航空自衛隊三沢基地を視察。
 *災害時における、自衛隊の協力態勢の確認をいたし、また日本の防衛施設等の状況を把握してまいりました。

● 12月5日 農業農村整備事業に関わる予算要望で農林水産省に陳情。



● 蓮華寺池公園の再整備支援を要請してまいりました。11月20日国土交通省に青木副大臣を訪ね、蓮華寺池公園再整備に対する財政支援を要望、副大臣から「しっかりと承った」との返事をいただきました。



蓮華寺池公園の再整備支援を要請
 国土交通省に青木副大臣を訪ね、蓮華寺池公園再整備に対する財政支援を要望、副大臣から「しっかりと承った」との返事をいただきました。

(令和元年11月21日静岡新聞)



● 国一バイパスの早期4車線化を国交省に陳情。



● 11月23日静岡県内女性議員研修会に出席。



世界遺産視察!

県議会9月定例会の後、世界遺産に登録された<日本平、三保の松原>を170名の皆さまと視察、今後の藤枝市の観光推進の参考となりました。



西原あけみ事務所

〒426-0026 藤枝市岡出山2丁目10-17
 TEL 054-644-1245 FAX 054-639-9530

E-mail info@nishihara-akemi.com | ホームページ http://nishihara-akemi.com

水・木 10:00~15:00 事務所の開いている時間です。お気軽にお越しください。

県議会の活動拠点 県庁内 静岡県議会自民改革会議
 〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6 Tel 054-221-2566 Fax 054-221-3379